

目 標 達 成 計 画

事業所名  
グループホームゆうゆう・多賀城 ふじ棟

作成日 平成31年 2月 14 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	18	利用者様の家であることの認識不足があり、職員主体になってしまうことがある。	利用者様主体の生活が出来る。	出来ることの継続と関り合いの見直しを行う。	平成31年 3月1日～ 8月31日
2	48	職員が業務に追われると自立されている方との関りが少なくなる。	一人ひとりを大切にし全員が楽しみをもち気分転換が出来るようになる。	日々のミーティングやユニットミーティングにて情報を共有し、試していく。	平成31年 3月1日～ 5月31日
3	13	社外研修後の伝達研修の実施が少なく技術力の差が大きい。	職員全員が研修後の伝達研修実施の定着と技術力の向上	ユニットミーティングでの伝達研修の実施。職員同士がお互いに教え合う。	平成31年 3月1日～ 5月31日
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

目 標 達 成 計 画

事業所名  
グループホームゆうゆう・多賀城 もえぎ棟

作成日 平成31年 2月 20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	7	声かけやケアが自分本位になっている。	職員同士が気がつくようになり共有し注意し合えるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月中、研修で学んだことをまとめる。</li> <li>・4月のユニットミーティングで勉強会を行う。</li> <li>・毎月のミーティングで各自チェック表の記入を行い意見交換や指摘し合う時間をつくる。</li> </ul>	平成31年 3月～9月 10月振り返りを行う
2	49	ご本人に合った楽しみや満足につながる外出や対応の不足	ご本人の思いを引き出し計画を立て実践する。	誕生日やその他一人ひとりの生活歴から情報を収集する。各担当者が企画して実践する。	平成31年 3月～
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

目 標 達 成 計 画

事業所名  
グループホームゆうゆう・多賀城 もも棟

作成日 平成31年 2月 19日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	27	何故、記録が必要か記録の重要性への理解不足がある。利用者様の変化を見逃してしまっている。	記録の重要性を理解し利用者様の情報を共有し協力して効率よく質の高い介護が行える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の中で利用者様に変化があった場合は、すぐ記録に残すようにする。</li> <li>・定期的な勉強会を行う。</li> <li>・記録をもとに月1回、全体で利用者様の情報共有を行う。</li> </ul>	H31. 3. 1～ H31. 6. 30 上半期の振り返りと新たな課題への取り組みを下半期に行っていく。
2	23	馴れ合いの関係が目立ち、利用者様の思いより職員の先入観や思い込みでケアを行っている。	過去の情報に捕らわれず現状を理解し、その時必要な声掛けやケアが行える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者へ依頼し、棟で不足している課題を提示し勉強会を行って頂く。</li> <li>・多くの関わりが持てるよう都度業務改革を行っていく。</li> <li>・業務の中で職員同士が指摘し合える環境作りを行っていく。</li> </ul>	H31. 3. 1～ H31. 6. 30 上半期で職員の意識改革、目標は達成を目指す。
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。